

夢サラダ Vol.30

2006.2.1 発行

◆2005年度より偶数月の発行となりました。

市民活動の拠点を目指しています。
「今治市民活動センター」
運営：(特非)今治NPOサポートセンター
【お問合せ】TEL/FAX 25-8234

第4回 四国NPOフォーラム開催報告

四国のNPOの連携と情報交換、学びとスキルアップを目的に開催される「四国NPOフォーラム」。今年は、『今、四国を魅せる。～かわる人・まち・くらし 市民社会の構築にむけて～』をテーマに、11月19、20日の2日間、新居浜市で開催されました。20日は、防災、協働、指定管理者制度等、6つの分科会に分かれ学びました。

「組織とネットワーク」分科会では、へんろ道のゴミ問題に対する取り組み、低迷するアユ漁業復興のため水環境の保全活動、子どもに関わる不審者情報多発による自主防犯活動の事例報告があり、市民団体と行政の協働に向けてのヒントがありました。

市町村合併、行政の外部委託化推進など、NPOを取り巻く環境は大きく変化しています。これまでのように行政に依存するのではなく、市民発の「公」をどう育てていくかが今後の課題だということが共有されました。

地縁と支援の協働に向けてのヒント

- 協働相手の現状調査をしっかりと！
※NPOは行政を、行政はNPOを知る。
- お互いが対等な立場で話し合う
※新聞記事やビデオは説得の材料となる
- 役割を分担し、まず行動！
※活動の足元を見直し、自分たちの役割を認知してもらうことで適切な役割分担につながる。
- 課題・目的の共有化のためしっかり学ぼう！
- 協働が単なる下請けにならないためには
 - ①プロフェッショナルになる
(行政等が知恵を借りにくるような)
 - ②企画段階から関わる。

NPOの広報カスキルアップ～伝えるコツを身につけようのセミナーから

活動を広げ、支援者を獲得しようとするとき、自らの思いや事業内容、目的を相手にうまく伝える能力が求められます。それぞれのツールの役割や特徴を学び、伝えたい内容の盛り込み方、誰もが目を通したくなる整理の方法を身につけましょう。

○会報

支援者や受益者に定期的に必要な情報を届け、事業内容の把握に役立つ。

○団体リーフレット

団体の活動理念、基本的な情報の把握に役立つ、団体の顔として機能する。

○ホームページ

時間や場所の制約がなく、パソコンを使える人には、有効かつ効率的に伝達できる。

○報告書

信頼性を高めるために最も重要なツール。事業開始時から、報告書作成を念頭に置いておくことが重要。

〈活用のポイント〉

○ターゲットを絞る

ターゲットを想定することで、掲載情報、整理の仕方、言葉遣い、表現に統一感！結果的に、誰にとってもわかりやすいものに。

○こまめな更新を

特にホームページにおいて重要。また、パンフレットも刷り過ぎない！

○意外と見られている「報道実績」

紹介された記事をアップして、魅力をPR



災害に強いまちを目指そう

今治市に大きな被害をもたらした芸予地震から早5年。あの時の記憶は風化されてはいないでしょうか。発生の可能性が高いといわれる南海地震をはじめ、大規模災害はいつ起こるかわかりません。災害被害軽減への対応は、公的機関の支援である「公助」だけでは難しく、自ら身を守る「自助」、お互いに助け合う「共助」が重要です。さらにはボランティアの活躍も求められます。

もし大規模災害がおいたら...

◆災害発生直後

○住民同士の助け合い

救出・救護等 → 生命を守る

日頃の地域のつながりが生きる時。

阪神淡路大震災では、建物の倒壊により閉じ込められた人のうち、約95%は自力、または家族や隣人に救助され、消防などの公的機関に助けられたのは約1.7%であったというデータがあります。

○自主防災組織の機能

大規模災害発生直後は、電話や道路交通などが阻害され、公的機関は十分な応急活動ができません。そのため、地域で情報を収集し、住民に迅速に伝え、初期消火活動、被災者救出、避難誘導などの防災活動にあたることで被害軽減に有効です。

◆災害発生2～3日後

○災害ボランティアセンター立ち上げ

大規模災害等が発生した際、県内外から多くのボランティアがかけつけ復興支援を行います。そのボランティアの受け皿として現地のニーズ把握等を行い、ボランティア活動を組織的に展開していくための支援を行うのが災害ボランティアセンターです。



キーポイント① 自主防災組織

大規模な災害が起こった場合、公的機関の支援体制は著しく低下することは先に述べました。そこで、公的支援に頼らず、地域住民が協力して災害に備える自主防災組織の結成が全国で進んでいます。いつ起こるかわからない災害。そんな災害に備えるには平常時の取り組みが大切です。防災知識の普及や防災点検、防災訓練などを行い、日頃から地域住民の連帯感や信頼関係を構築していくことが重要です。

◇今治市の取り組み

今治市防災対策課では自主防災組織についてその必要性、つくり方、支援制度などの内容を盛り込んだ説明会を、地区単位にて順次開催しています。平成19年度には組織率40%を目標としています。

今治市内の自主防災組織率は28.1% (平成17年9月末現在)。全国平均の62.5%を大きく下回り、低い水準となっています。

今治市初の自主防災合同訓練を実施

日高地区自治会 三好俊夫会長に話を伺いました!

平成15年6月、市内の自治会長が見守る中、約300人が参加して防災訓練を行いました。これを通しての成果は、人と人の横のつながりが生まれたこと。いざというときには訓練を応用し、住民の生命や財産を守りたいと考えています。

「防災フェスティバル」～被災者に愛を～ 実施報告

自然災害で亡くなった人を追悼し、命の大切さや災害に強いまちづくりを目指した「防災フェスティバル」につきまして、多くの市民の皆様のご賛同とご理解を賜り、盛大に実施することができました。

この事業は、市民の皆様の募金により実施することができましたもので、右記の通り収支決算書をご報告いたします。

※当日までに集まった灯りの募金を、新潟県庁を通して自然災害の被災者へ募金いたしました。



消火実習コーナーの様子

キーポイント② 災害ボランティアセンター

大規模災害発生の際、復興の要の一つであるボランティア。ただ、県内外から集まってくるボランティアが活躍できる基礎整備ができていないと、せっかくの支援が十分に活かされません。そこで、災害ボランティアセンターの役割が重要になります。

災害ボランティアセンターにおける活動の流れ(例)

①ボランティア受付

ボランティア保険への加入手続きも行います。

②グルーピング

受付後、活動を行うためのグループを作ります。

③グループリーダーの決定

リーダーは経験者や、その日の最終時間まで活動することが可能な人が望まれます。

④マッチング（活動場所の決定）

⑤オリエンテーション

スタッフがボランティア活動に関する注意点などの説明を行います。

⑥資材補充

活動に必要な資材を補充します。

⑦活動

⑧終了・活動報告の作成

リーダーは活動報告書を作成します。

また、愛媛県社会福祉協議会地域福祉班主任、萩森一路さんは、「災害ボランティアセンターとして、被災者個々のニーズに対応するためには、社会福祉協議会だけでなく、市民活動団体等の情報やノウハウが有用。お互いの得意分野を生かし、不得意分野を補いながら中・長期的な支援を続けることが、コミュニティの再構築につながります。」といます。

日頃から各関係団体や機関の間の情報交換等を行いながら、地域においてお互いの「顔の見える」関係づくりを進めることが、救援活動を展開する上でも大きな効果を発揮するのではないのでしょうか。

～防災士 あなたは知っていますか～

防災士とは、阪神淡路大震災を教訓に結成されたNPO法人日本防災士機構が認証している民間資格。資格取得で特別な権限や義務は生じませんが、防災のプロとして地域住民をけん引する役割を果たします。住民の災害に対する意識の高揚にも貢献するだけに、地域防災力向上のカギとして注目されています。

◇松山市の取り組み

防災士の資格取得では、約6万円の費用が必要ですが、松山市では原則、資格取得後10年間は、自主防災活動の中心的役割を果たし、地域住民への啓発活動に携わることを条件に受講費用などを全額補助しています。

～さいごに～

地域や様々な機関が大規模災害に備え動き始めています。私たちは何ができるでしょうか。いざという時のために、家具などの転倒落体策、災害時の連絡方法や避難場所の確認、非常持出品の点検など家庭でできることもたくさんありますね。

この機会に家庭で防災について話し合ってみませんか？

皆様のご意見を参考に記事を作成していきます。次号は『協働・連携』についての特集です。20日までにメールやFAXでご意見をお寄せください。

今治NPOサポートセンター

〒794-0026 今治市別宮町8丁目1-55

TEL/FAX 0898-34-8515

E-mail: imanpo@us.ehime-iinet.or.jp

収支決算書

【収入の部】

(単位：円)

項目	金額	内訳
募 金	535,500	500円×1,071口
募 金 箱	29,033	
雑 収 入	19,350	高所作業車収益
合 計	583,883	

(収入総額) - (支出総額) = (差引金額)

583,883円 - 583,883円 = 0円

【支出の部】

(単位：円)

項目	金額	内訳	
災害見舞金	315,688		
事業費	広報費	127,389	用紙・ポスター・のぼり代
	通信費	10,973	切手代・電話代
	保険代	17,400	ボランティア保険
	借上料	24,150	高所作業車
	消耗品	88,283	ろうそく・のり等
合 計	583,883		

第6回 大三島公民館



大三島公民館は、多様な学習要求に応える生涯学習の場として開設されました。住民のコミュニティの場となり、主催講座として、歴史教室、俳句、フラワーデザイン、花づくり、エアロビクスなどがあります。自主講座として園芸、陶芸教室など多数企画・運営されています。

また、年に一度、多彩なゲストを呼んで生涯学習講演会が行われます。「すてきな暮らしへのヒント」「親子愛・家族愛」など、さまざまな考え方にふれる機会がもてるようにと企画され、地域住民の方々は毎回楽しみにしています。



パソコン室。20台用意されている。

—気軽に利用できる充実した設備—

和室2部屋、小会議室、パソコン室、80名程度が利用できる中ホール、400名程度が利用できる大ホール、調理室、サークルホールを有し、さまざまな用途に適したつくりとなっています。

サークルホールは、調理室で作った料理を試食したり、手芸などを楽しんだり主婦たちが憩う場として喜ばれています。パソコン室では、マイクやプロジェクター、スクリーン、パソコンと、AV設備が充実しています。(ただし、個人での利用はできず、団体での利用のみとなります。)

公民館の隣には図書館があり、10名程度で利用できるエル・ルーム、50名利用できるスカイシアタールームがあります。スカイシアタールームでは70インチの大型ビジョンが設置され、幅広い世代の方に喜ばれています。



開館時間	8:30~21:30
休館日	日曜日、祝日、年末年始
利用申込	来館の上、申請書を提出
住所	今治市大三島町宮浦 5708
T E L	0897-82-0500(代)
担当課	今治市役所大三島支所



今治市の魅力再発見！

伝統文化 一人角力

一人角力は年2回、五穀豊穰を祈願する御田植祭と、豊作に感謝する抜穂祭で奉納される神事。行司が神前に一礼の後、「こなた精霊」「かなた一力山」と力士を呼び出し、取り組みが開始。土俵に上がった一力山は行司の差す軍配と掛け声につれて、目に見えない精霊と取り組みます。時に力強く、時にユーモラスな動きで悪戦苦闘する一力山の姿は、会場を沸かせます。

一時期継承者がおらず途絶えていましたが、九三年秋、「地域に伝わる文化の復活を」と地元中学生が学校行事の「ふるさと伝承文化発表会」で披露したことがきっかけで復活。現在は住民で受け継ぎ、伝統を守っています。



保存団体 大山祇神社
上演

旧5月5日 御田植祭
旧9月9日 抜穂祭

愛媛県無形民族文化財